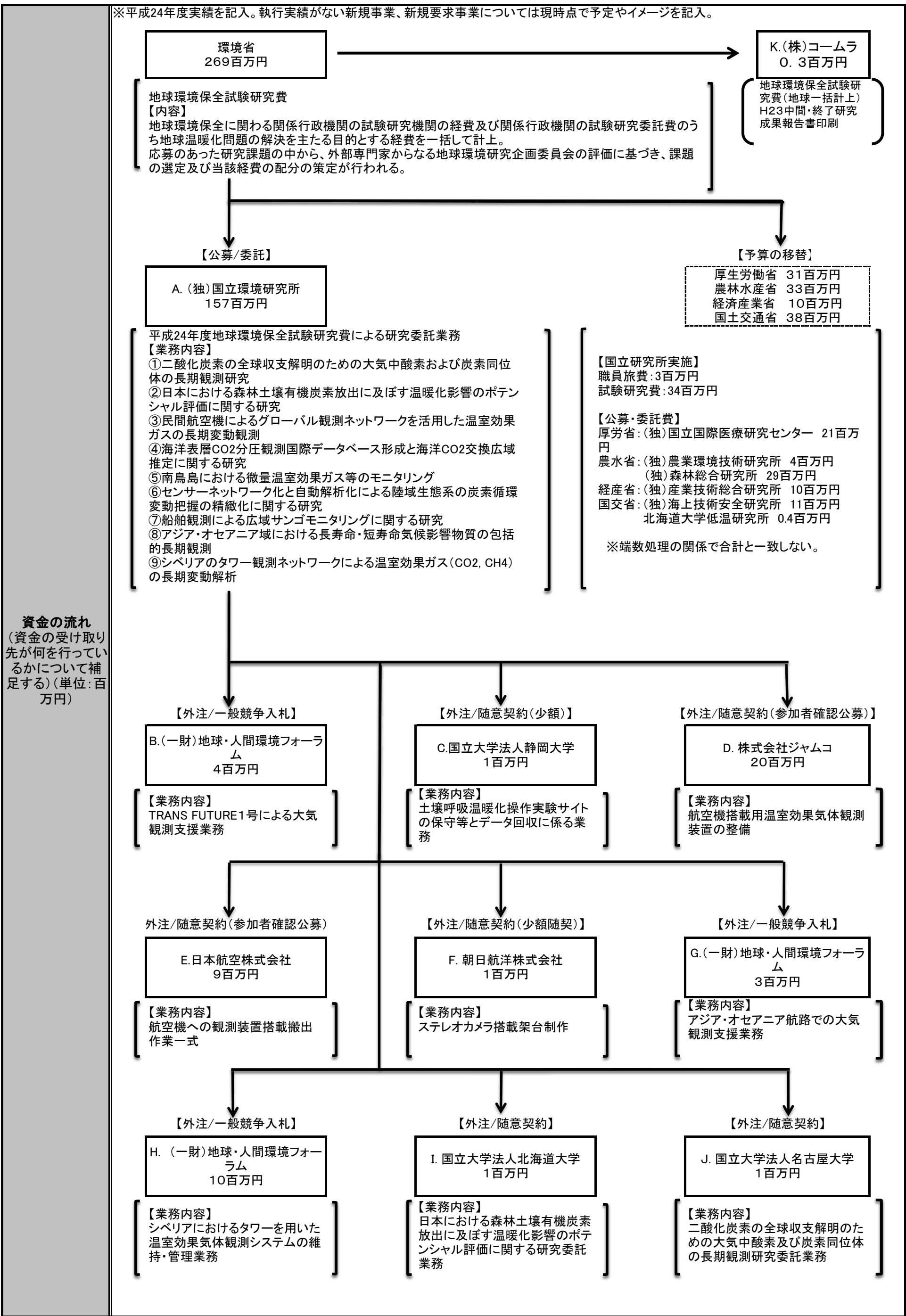


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地球環境保全試験研究費		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～未定		担当課室	総務課研究調査室		室長 辻原 浩		
会計区分	一般会計		政策・施策名	2. 地球環境の保全 2-3 地球環境保全に関する調査研究				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境省設置法第4条第3号		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球環境保全試験研究費(H13年度～) →地球温暖化問題の解決に資する科学的知見の集積を通じ、行政課題の解決を科学的側面から支援するもので、温暖化とその影響の長期観測を行うことで、温暖化とその影響の予測・評価に役立て、原因対策や影響対策立案の基礎とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	関係行政機関及び関係行政機関の試験研究機関が実施する地球環境の保全に関する試験研究について、効率的かつ総合的な試験研究計画等の推進を図るため、環境省設置法第4条第3号の規定に基づき、関係予算を一括計上し、予算成立後関係行政機関へ移し替えることにより、試験研究の一元的推進を図るもの。本事業における研究は、中長期的視点も踏まえ、計画的・着実に進めるべきものであり、観測結果等の成果は、地球温暖化対策をはじめ地球環境政策の立案・実施に科学的基盤を与えるものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	314	302	270	280	280	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計		314	302	270	280	280	
	執行額		310	301	269			
執行率(%)		99%	99%	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	終了翌年度に実施する事後評価(5点満点)で4点以上を獲得した課題数(4点以上の課題数/全評価対象課題数)		成果実績	-	100% (1/1)	80% (4/5)	0% (0/1)	50%以上
			達成度	%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	モニタリング研究課題数		活動実績 (当初見込み)	%	12	13 (13)	13 (13)	- (13)
単位当たりコスト	20.7(百万円/課題)		算出根拠	単位当たりコスト=執行額/モニタリング研究課題数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	試験研究調査委託費	247	256					
	試験研究費	31	22					
	職員旅費	2	3					
計	280	280	26年度要求については、端数処理の関係で各費目の合計が総合計と一致しない。					

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	国際的な分業・協力体制の下での地球環境モニタリングなど、金銭的利益を目的とせず、国内及び全球規模で継続的に実施するもの。地球温暖化対策をはじめ地球規模の環境政策の立案・実施に不可欠のものであり、国の責任で行う必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	本事業は、事業開始前の「事前評価」、事業中間年の「中間評価」、事業終了後の「事後評価」を利害関係者を排除した外部評価委員による厳正な評価を実施している。これら評価において、資金の流れ等を含めた評価を行い、評価結果に応じた予算の増減を行い、予算の効率的効果的執行に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	本事業を構成する試験研究モニタリングについては、課題ごとに各年度ごとの達成目標、実施方法等を内容とする研究計画を作成している。外部評価委員による評価において、研究計画や実施状況、成果の普及等について評価を行うとともに、評価結果を踏まえた研究計画の再検討を行いながら、事業を実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>持続的な地球環境モニタリングは、地味ではあるが、我が国の国際貢献の最主要の分野の一つであり、本事業は、長期継続モニタリングの一翼を担い、国際貢献の度合いも高い。</p> <p>本事業は、事業開始前の「事前評価」、事業中間年の「中間評価」、事業終了後の「事後評価」を利害関係者を排除した外部評価委員により厳正に実施している。特に事前評価、中間評価の際には、評価結果をふまえ、研究課題ごとの予算を増減させ、メリハリのある事業実施をしている。このような厳正な評価を引き続き行う。例えば、平成24年度中間評価の場合、3課題の評価があり、そのうち評点が4点(5点満点中)未満である課題については前年度から5%の減額としている。その一方、評点が4点(5点満点中)以上である課題については、前年度より5%増額としている。</p> <p>また、新規課題を採用する際には、時流に沿った必要性・優先度の高い課題を採用し、効果的な事業実施に努めている。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	引き続き効率的な執行に努め、概算要求額は必要最小限に留めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	引き続き効率的な執行に努める。必要最小限の要求額とした。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	041	平成23年	026	平成24年	024

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

環境省  
269百万円

K.(株)コムラ  
0.3百万円

地球環境保全試験研究費  
【内容】  
地球環境保全に関わる関係行政機関の試験研究機関の経費及び関係行政機関の試験研究委託費のうち地球温暖化問題の解決を主たる目的とする経費を一括して計上。  
応募のあった研究課題の中から、外部専門家からなる地球環境研究企画委員会の評価に基づき、課題の選定及び当該経費の配分の策定が行われる。

地球環境保全試験研究費(地球一括計上)  
H23中間・終了研究  
成果報告書印刷

【公募/委託】

【予算の移替】

A.(独)国立環境研究所  
157百万円

厚生労働省 31百万円  
農林水産省 33百万円  
経済産業省 10百万円  
国土交通省 38百万円

平成24年度地球環境保全試験研究費による研究委託業務  
【業務内容】  
①二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素および炭素同位体の長期観測研究  
②日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究  
③民間航空機によるグローバル観測ネットワークを活用した温室効果ガスの長期変動観測  
④海洋表層CO2分圧観測国際データベース形成と海洋CO2交換広域推定に関する研究  
⑤南鳥島における微量温室効果ガス等のモニタリング  
⑥センサーネットワーク化と自動解析化による陸域生態系の炭素循環変動把握の精緻化に関する研究  
⑦船舶観測による広域サンゴモニタリングに関する研究  
⑧アジア・オセアニア域における長寿命・短寿命気候影響物質の包括的長期観測  
⑨シベリアのタワー観測ネットワークによる温室効果ガス(CO2, CH4)の長期変動解析

【国立研究所実施】  
職員旅費:3百万円  
試験研究費:34百万円

【公募・委託費】  
厚労省:(独)国立国際医療研究センター 21百万円  
農水省:(独)農業環境技術研究所 4百万円  
(独)森林総合研究所 29百万円  
経産省:(独)産業技術総合研究所 10百万円  
国交省:(独)海上技術安全研究所 11百万円  
北海道大学低温研究所 0.4百万円

※端数処理の関係で合計と一致しない。

【外注/一般競争入札】

【外注/随意契約(少額)】

【外注/随意契約(参加者確認公募)】

B.(一財)地球・人間環境フォーラム  
4百万円

C.国立大学法人静岡大学  
1百万円

D.株式会社ジャムコ  
20百万円

【業務内容】  
TRANS FUTURE1号による大気観測支援業務

【業務内容】  
土壌呼吸温暖化操作実験サイトの保守等とデータ回収に係る業務

【業務内容】  
航空機搭載用温室効果気体観測装置の整備

外注/随意契約(参加者確認公募)

【外注/随意契約(少額随契)】

【外注/一般競争入札】

E.日本航空株式会社  
9百万円

F.朝日航洋株式会社  
1百万円

G.(一財)地球・人間環境フォーラム  
3百万円

【業務内容】  
航空機への観測装置搭載搬出作業一式

【業務内容】  
ステレオカメラ搭載架台制作

【業務内容】  
アジア・オセアニア航路での大気観測支援業務

【外注/一般競争入札】

【外注/随意契約】

【外注/随意契約】

H.(一財)地球・人間環境フォーラム  
10百万円

I.国立大学法人北海道大学  
1百万円

J.国立大学法人名古屋大学  
1百万円

【業務内容】  
シベリアにおけるタワーを用いた温室効果気体観測システムの維持・管理業務

【業務内容】  
日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究委託業務

【業務内容】  
二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究委託業務

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(独)国立環境研究所			F.朝日航洋株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	(一財)地球人間フォーラム 他	50	雑役務費	ステレオカメラ搭載架台制作	1
消耗品費	連続測定機器用消耗品類等	22	計		1
賃金	観測データ整理及び解析補助等	22	G.(一財)地球・人間環境フォーラム		
人件費	特別研究員、高度技能職員等	17	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	レンタカー借り上げ等	9	雑役務費	アジア・オセアニア航路での大気観測支援業務	3
備品費	二酸化炭素/メタン/一酸化炭素/水分アナライザー等	8	計		3
旅費	試験研究旅費、外国旅費等	5	H.(一財)地球・人間環境フォーラム		
雑役務費	修理・保守業務、学会参加費等	4	費目	使途	金額 (百万円)
その他	一般管理費、消費税	20	雑役務費	シベリアにおけるタワーを用いた温室効果気体観測システムの維持・管理業務	10
計		157	計		10
B.(一財)地球・人間環境フォーラム			I.国立大学法人北海道大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	TRANS FUTURE1号による大気観測支援業務	4	雑役務費	日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究委託業務	1
計		4	計		1
C.国立大学法人静岡大学			J.国立大学法人名古屋大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	土壌呼吸温暖化操作実験サイトの保守等とデータ回収に係る業務	1	雑役務費	二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究委託業務	1
計		1	計		1
D.株式会社ジャムコ			K.(株)コームラ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	航空機搭載用温室効果気体観測装置の整備	20	雑役務費	地球環境保全試験研究費(地球一括計上) H23中間・終了研究成果報告書印刷	0.3
計		20	計		0.3
E. 日本航空株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)			
雑役務費	航空機への観測装置搭載搬出作業一式	9			
計		9			

支出先上位10者リスト

A.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	平成24年度地球環境保全試験研究費による研究委託業務 【業務内容】 ①二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素および炭素同位体の長期観測研究 ②日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究 ③民間航空機によるグローバル観測ネットワークを活用した温室効果ガスの長期変動観測 ④海洋表層CO2分圧観測国際データベース形成と海洋CO2交換広域推定に関する研究 ⑤南鳥島における微量温室効果ガス等のモニタリング ⑥センサーネットワーク化と自動解析化による陸域生態系の炭素循環変動把握の精緻化に関する研究 ⑦船舶観測による広域サンゴモニタリングに関する研究 ⑧アジア・オセアニア域における長寿命・短寿命気候影響物質の包括的長期観測 ⑨シベリアのタワー観測ネットワークによる温室効果ガス(CO2, CH4)の長期変動解析	157	競争的資金	-

B.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(一財)地球・人間環境フォーラム	TRANS FUTURE1号による大気観測支援業務	4	1	99%

C.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	国立大学法人静岡大学	土壌呼吸温暖化操作実験サイトの保守等とデータ回収に係る業務	1	随意契約 (少額随契)	-

D.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	株式会社ジャムコ	航空機搭載用温室効果気体観測装置の整備	20	随意契約	-

E.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	日本航空株式会社	航空機への観測装置搭載搬出作業一式	9	随意契約	-

F.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	朝日航洋株式会社	ステレオカメラ搭載架台製作	1	随意契約 (少額随契)	-

G.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(一財)地球・人間環境フォーラム	アジア・オセアニア航路での大気観測支援業務	3	1	96%

H.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(一財)地球・人間環境フォーラム	シベリアにおけるタワーを用いた温室効果気体観測システムの維持・管理業務	10	1	88%

I.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	国立大学法人北海道大学	日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究委託業務	1	随意契約	-

J.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	国立大学法人名古屋大学	二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究委託業務	1	随意契約	-

K.

	出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)コムラ	地球環境保全試験研究費(地球一括計上) H23中間・終了研究成果報告書印刷	0.3	少額随意契約	-